



Design

～ 距離を保ちましょう～



発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

オンラインで退院前カンファレンスを実施しました。

～ コロナの時代の新しい形～



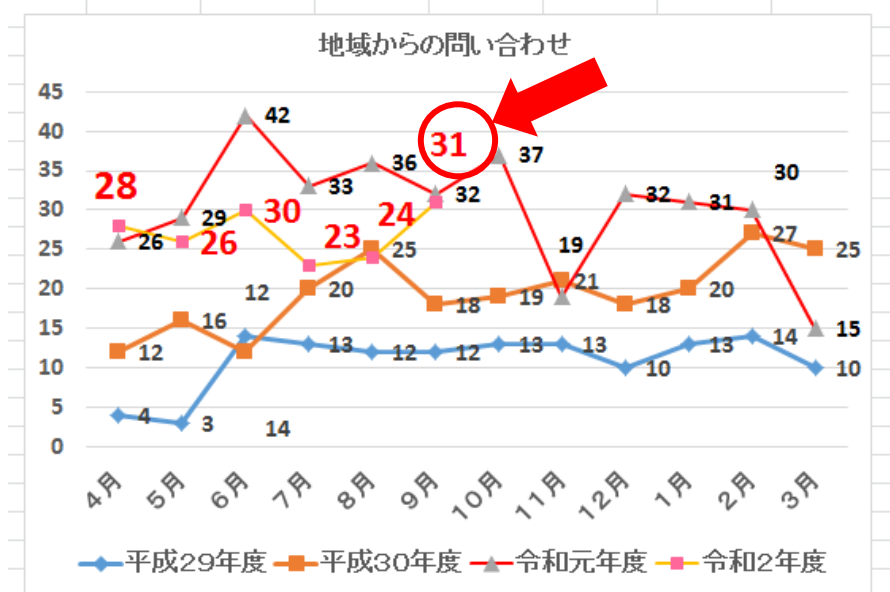
新型コロナウイルス感染拡大のため、入院患者さんへの様々な関わりが制限されています。これまでは、地域の関係機関の皆様には当院にこまめに足を運んで頂き情報共有していましたが、コロナにより、地域の専門職の方々と対面で情報共有する機会は減ってしまいました。

さて、この度、ZOOMを使って、オンラインで退院前カンファレンスを行いました。患者さんは施設入所中に脳梗塞を発症されたため、当院に入院され、治療の経過の中で胃ろうを造設しました。施設の嘱託医の柳澤衛先生は当院で参加されましたが、施設の職員の方々は施設から参加され、注食やADLなどについて情報共有しました。

コロナの時代の新しい形として、引き続き、オンラインでのカンファレンスを継続していきたいと考えています。（南出）

令和2年9月の問い合わせ状況の報告

令和2年9月は31件の問い合わせを頂戴しました。定期的に“彩り”ご利用頂いている患者さんの担当ケアマネジャーからのご依頼や、転倒し動けないと地域包括支援センターの担当の方から入院のご依頼を受け、一旦当院を受診して頂き骨折がないことを確認し、その日から“彩り”で受け入れた例もありました。



老健やましろより

～100歳のお祝いをしました～



9月21日は敬老の日でした。昭和38年以降、日本では、老人福祉法に定める「老人の日」の記念行事として100歳を迎える高齢者に内閣総理大臣からのお祝い状と記念品が贈呈されています。対象となる高齢者は、今年度中に100歳に達し、又は到達する見込みの方で、令和2年度の対象者は9月1日現在で全国に41,802人、京都府に902人おられるそうです。

当施設でもこの数年はほぼ毎年その対象にあたる方がいらっしゃいますが、今年度はこれまでで最高の4人（男性1人、女性3人）の方が対象となりました。例年、京都府山城南保健所の職員の方が施設に来所されご家族も招待しての表彰式を行っていたのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、岩本施設長からの賞状贈呈となりました。

当施設でも入所者様の平均年齢は、平成19年の施設開設当時の85.28歳から年々上がり、現在は87.88歳で、最高齢の方は満104歳です。



今年度の高齢者表彰について厚生労働省から出された資料の中に、「地域で話題の100歳以上の高齢者の状況」が紹介されています。100歳を超えてもお元気に活躍されている様子に頭の下がる思いです。京都府では現在111歳の方が最高齢ですが、当施設の利用者様も最高齢を目指してこれからもお元気で楽しい毎日を過ごしていただければと思います。

(老健やましろ 管理部長 三村 裕子)

地域医療連携室より

～年末年始の受け入れについて～

例年のこととなりますが、地域包括ケア病棟“彩り”では、年末年始、患者さんの受け入れを行っています。介護者が不在になる、在宅医療が一時的に途切れる、介護施設のショートステイが利用できない、などの理由で入院を希望される場合には、お気軽にお問い合わせ下さい。ご連絡をお待ちしています。(地域医療連携室 室長 南出 弦)

0774-73-1818 (担当：中野・中嶋・松田)

ケアマネジャーの皆様へ

メールもご利用下さい

急ぎではないご用件であれば、メールを活用した連携をさせて頂くことも可能です。これまで持参して頂いていた、入院時情報提供書（在宅サマリー）等もメールに添付してお送り頂けます。コロナ禍で、これまでの概念に捉われない新たな連携の形を模索していきたいと思っています。(南出)

地域医療連携室メールアドレス：ti0001@yamashiro-hp.jp